

# 連合長野がベ版 ニュース



冬号 [No40]  
2011.2.10

発行 日本労働組合総連合会  
長野県連合会  
発行人 中山千弘  
〒380-8545 長野市県町532-3 労働会館3F  
TEL 026-234-1626 FAX 234-1349  
E-mail info@rengo-nagano.jp  
http://www.rengo-nagano.jp/

## 2011春季生活闘争

# 「働くことを軸とする安心社会」の実現へ スタートの取組みだ!!



発言する地方委員→

### 連合長野としての賃金要求目安

- 賃金カーブの算定が可能な組合  
賃金カーブ維持分の労使確認+賃金改善分(1%)
- 賃金カーブの算定が困難な組合  
賃金カーブの維持分(4,600円)+賃金改善分(2,600円)

←2011春闘勝利へ団結  
カンパロウ

## —第23回地方委員会で、連合長野春闘方針が決定—

1月21日(金)、松本市勤労者福祉センターで開催された地方委員会で、連合長野2011春季生活闘争方針が満場一致で決定されました。

近藤会長から、「私たちを取り巻く経済・雇用環境の中で、厳しく困難な労使交渉も想定される。暮らしを守るためにも、全ての働く者の期待に応える春闘にしよう。」と挨拶されました。連合が昨年の12月の中央委員会で採択した、連合が目指す社会像「働くことを軸とする安心社会に向けて」のスタートの闘いでもあります。連合長野の総力を挙げて、2011春季生活闘争を闘い抜きましょう。



「春闘も統一地方選も地域の力で」とあいさつ

## 暮らしの実感アンケートでも厳しい視線

### 「希望と安心の社会」 キャンペーンで街頭行動



民主党県連と合同で訴える



暮らしのアンケートで厳しい声

1月22日長野駅前において、連合長野の街頭宣伝活動と「暮らしの実感アンケート」を合わせて実施しました。

当日は、民主党県連の新春交歓会も予定されていたため、連合が呼びかけて合同で街頭から訴えました。「暮らしのアンケート」では、管改造内閣に厳しい回答が寄せられ、街を歩く人からも「連合がもっと民主党に注文せよ」などの声がありました。

また、政治に望む政策として「安心できる年金・医療制度確立」の社会保障制度改革への期待が数多く寄せられました。



街行く人にアンケート

## 厳しい雇用環境は続く 相談対応に全力

昨年、12月23日から29日まで松本労働会館に「年の瀬労働者相談センター」を開設し、雇用・雇止め・賃金不払い等の労働相談や生活相談の対応を行いました。

相談内容では、解雇を含む雇用関係の相談が33.3%と多く、依然として厳しい雇用環境にあることを示しています。連合長野は、今後とも労働相談等の対応に力を注いでいくこととしています。



年の瀬相談の実施を訴え

### 「年の瀬相談会」を松本で行なう



相談対応のチラシを配布



相談センターで対応

## 50年の歴史を新たにスタート

### —労福協の「新春交歓会」で 「福祉は一つ」を再認識—

1月5日の長野県労働者福祉協議会を中心とする交歓会が開催されました。近藤理事長から「結成50年の歴史を踏まえ、今年は『福祉は一つ』の原点を大切に活動の輪を広げたい」と挨拶がされました。

また、ベトナム交流会より枯葉剤(ベトナム戦争時に使用)の後遺症等の被害者の創った「刺繍」が贈呈され、改めて平和の尊さに思いを新たに「交歓会」となりました。



ベトナム交流会から贈呈



50年の歴史を踏まえた決意のあいさつ

阿部知事から新年のあいさつ

## マリ共和国に 「協力米」を発送

### —連合長野の「国際協力田」で収穫—



発送する袋に寄せ書き



トラックに積み込む協力米

1月13日JA長野県ビル前に於いて、昨年10月3日に収穫した298kgの米をアフリカのマリ共和国へ発送した。安曇野市の連合長野「国際協力田」で、田植え・稲刈りなど国民運動委員会を中心とするメンバーが育てた貴重な米です。

不足する食料として有効に活用頂くようお願い、発送式を終えました。